



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・エス・ビー
代表者名 代表取締役社長 若尾 一史
(コード番号：9702 東証プライム市場)
問合せ先 取締役管理本部長 廣瀬 雅也
(TEL. 03-6775-3270)

「ISB グループ中長期経営計画 2030」策定に関するお知らせ

株式会社アイ・エス・ビー（本社：東京都港区、代表取締役社長：若尾一史 以下、当社）は、「永続する企業」の実現に向けてさらなる成長を加速させるため、「ISB グループ マテリアリティ」（以下、マテリアリティ）の再設定と、「ISB グループ中長期経営計画 2030」（以下、中長期計画 2030）を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「ISB グループ マテリアリティ」の再設定

当社グループは、2024 年度から 2026 年度までの「ISB グループ中期経営計画 2026」を策定し、人的資本や働く環境整備等への成長投資を実行してまいりました。その結果、事業規模拡大、採用・組織活性などで成果が現れ始めています。

一方で、計画最終年度を迎えた現在、デジタル技術の進化を含めた、社会を取り巻く環境の加速度的な変化への対応が喫緊の課題となっています。この度、当社グループはこの課題に取り組むため、新たにマテリアリティを再設定し、中長期計画 2030 を始動いたします。

	社会課題	マテリアリティ	主な取り組み
成長マテリアリティ	⑤ 社会 技術革新	技術で支える生産性向上、安心安全	<ul style="list-style-type: none">● 研究開発、技術投資の強化● 専門人材の育成、採用● ソリューションサービスの高度化
	⑤ 社会 地域活性化	地域に根差した事業活動による雇用創出と経済の活性化	<ul style="list-style-type: none">● 事業拡大と新規拠点の開設● 地域に根差した雇用創出の促進
	⑤ 社会 人的資本	従業員一人ひとりが主役となる、働きがいのある企業文化の醸成	<ul style="list-style-type: none">● 理念浸透やコミュニケーション活性化施策● ダイバーシティの推進と多様な人材の採用● 学び続けられる環境の提供
基盤マテリアリティ	⑥ 環境	気候危機を核とした環境課題への対応	<ul style="list-style-type: none">● GHG排出量の削減● 環境改善に向けたソリューションや技術の推進
	⑦ ガバナンス	社会から信頼を得る透明性の高いガバナンス	<ul style="list-style-type: none">● 情報開示・対話の充実● コーポレート・ガバナンスの高度化● コンプライアンス徹底

2. 「ISB グループ中長期経営計画 2030」について

中長期計画 2030 では、マテリアリティに紐づいた 3 つの重点戦略を実行し、社会価値と経済価値の向上に向けて各施策に取り組んでまいります。社員一人ひとりの働きがいを源泉とした企業成長により、心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりへの貢献を目指してまいります。

<テーマ>

ISB 革新 飛躍に向けて ～ from challenge to breakthrough ～

<重点戦略>

- ①事業戦略（情報サービス事業・セキュリティシステム事業）
- ②人的資本戦略
- ③財務・経営基盤戦略

<グループ目標・KPI>

		2025 年 12 月期 (実績)	2030 年 12 月期 (目標)
事業/人的資本 目標	連結売上高※1	370 億円	500 億円以上
	連結営業利益※1	23 億円	45 億円以上
	1 人当たり売上高※2	約 1,650 万円	1,760 万円以上
	1 人当たり営業利益※2	約 100 万円	160 万円以上
	従業員数※2	2,246 人	2,850 人以上
	女性管理職比率※3,4	5.7%	7.0%
	新卒女性比率※3	17%	30%
	従業員エンゲージメントスコア ※3,5	3.2	3.6 以上
財務・経営基盤 目標	ROE（自己資本利益率）	10.2%	14.0%以上
	配当性向	43.9%	50%以上
	DOE（純資産配当率）	4.5%	4%下限
	GHG 排出量（Scope1+2）※6	—	2024 年度比 30%削減

※1 M&A を含んでおりません。

※2 パートおよび嘱託社員を含まず、正社員で集計。

※3 当社（提出会社単体）で集計。

※4 管理職は課長相当クラス以上の合計（社外取締役除く）。

※5 働きがいの満足度に関わる指標を算出。最大値 5.0。

※6 国内事業の 2024 年度実績 593.8t-CO₂。TCFD シナリオの詳細については 2025 年度有価証券報告書にて開示予定。

なお、内容の詳細につきましては、添付資料「ISB グループ中長期経営計画 2030」をご参照ください。

以 上

ISBグループ 中長期経営計画2030

ISB革新 飛躍に向けて
~ from challenge to breakthrough ~

株式会社アイ・エス・ビー | 証券コード:9702

2026.2.13 | 2026年12月期－2030年12月期

ISB革新 飛躍へ向けて 新しい中長期経営計画の策定について



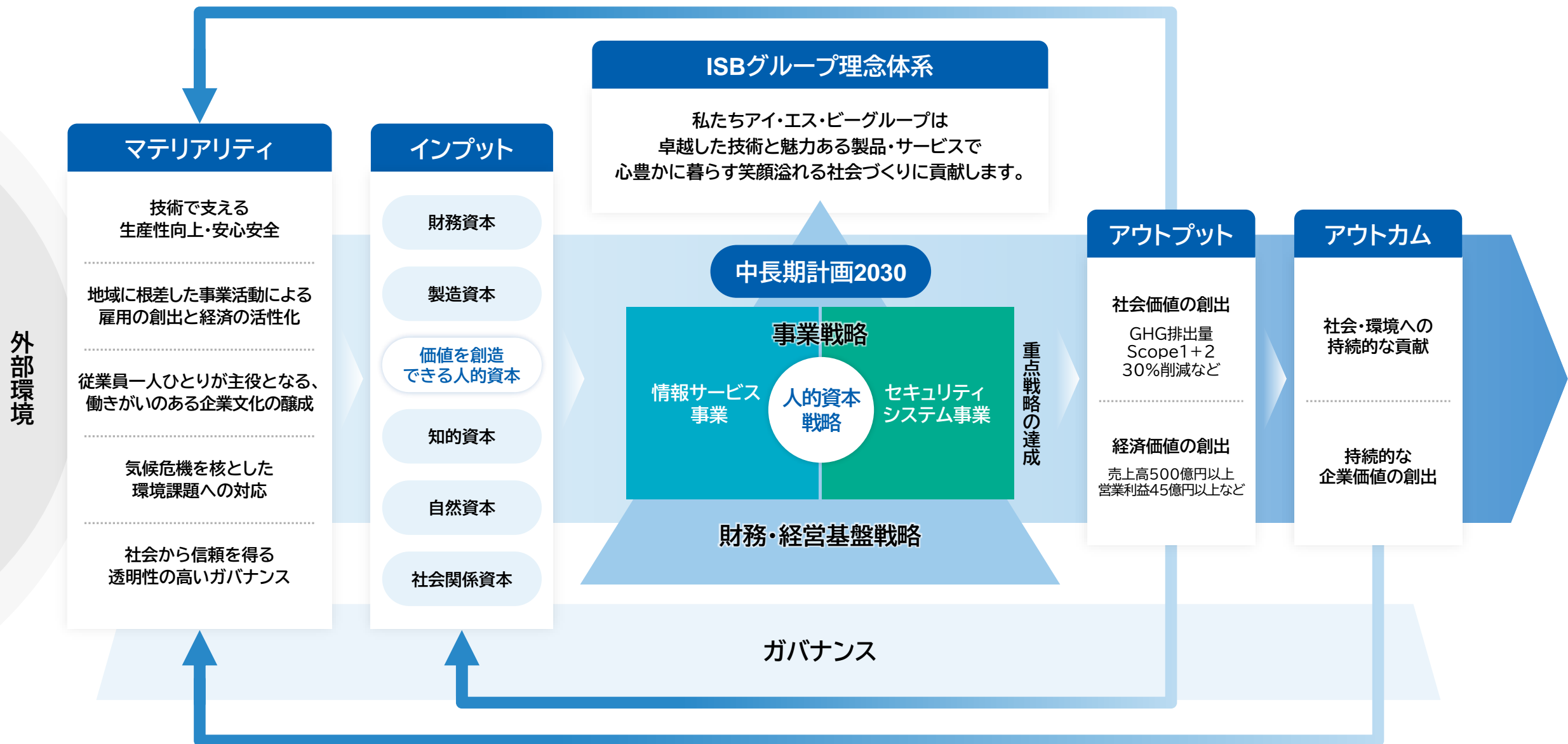
私たちは、「永続する企業」の実現へ向けた「ISBグループ中期経営計画2026」を策定し、人的資本や働く環境整備等への成長投資を実行してまいりました。その結果、事業規模拡大、採用・組織活性などで成果が現れ始めています。

一方で、計画最終年度を迎えた現在、デジタル技術の進化を含めた、社会を取り巻く環境の加速度的な変化への対応が喫緊の課題となっています。

そこで当社は、新たなマテリアリティの策定を行い、3つの重点戦略への取り組みを掲げ、社会価値と経済価値の向上を目的とした「ISBグループ中長期経営計画2030」を始動させる決断に至りました。

私たちの原点は、創業以来変わらぬ「夢を持って夢に挑戦」という志にあります。

社員一人ひとりの働きがいと成長を源泉とした企業成長により、心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりへの貢献に向けて、ISBグループは丸となって新たな領域へ挑戦し続けます。



市場(外部)環境

DX・AI需要の拡大と社会課題解決への要請増

情報サービス業界 底堅い需要と競争激化

- **機会**：DXニーズとIT投資の継続、先進技術の進化(AI・ローコード等)
- **脅威**：IT人材不足による獲得競争、システム高度化への対応

社会環境 サステナビリティと構造変化

- **ESG/SDGs**：脱炭素、人権尊重、多様性の確保、働き方の価値観変化、自然資本への配慮
- **社会構造**：少子高齢化・労働人口減、地方創生、インフラ老朽化、コスト高騰

内部環境

盤石な基盤構築と更なる事業高度化への課題






成果(強み) 経営基盤と成長投資

- **事業資産**：2,000名規模の技術者、優良な顧客基盤、安定した財務基盤
- **実績**：多岐にわたる事業領域と長年の開発実績、M&Aによる事業成長、人的資本への投資

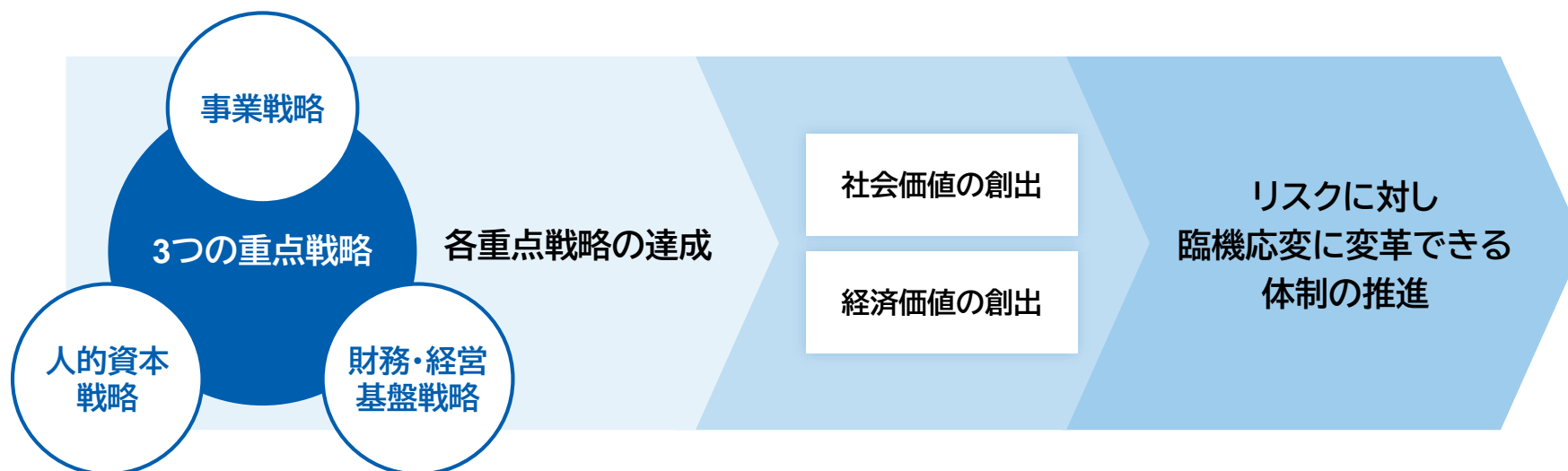
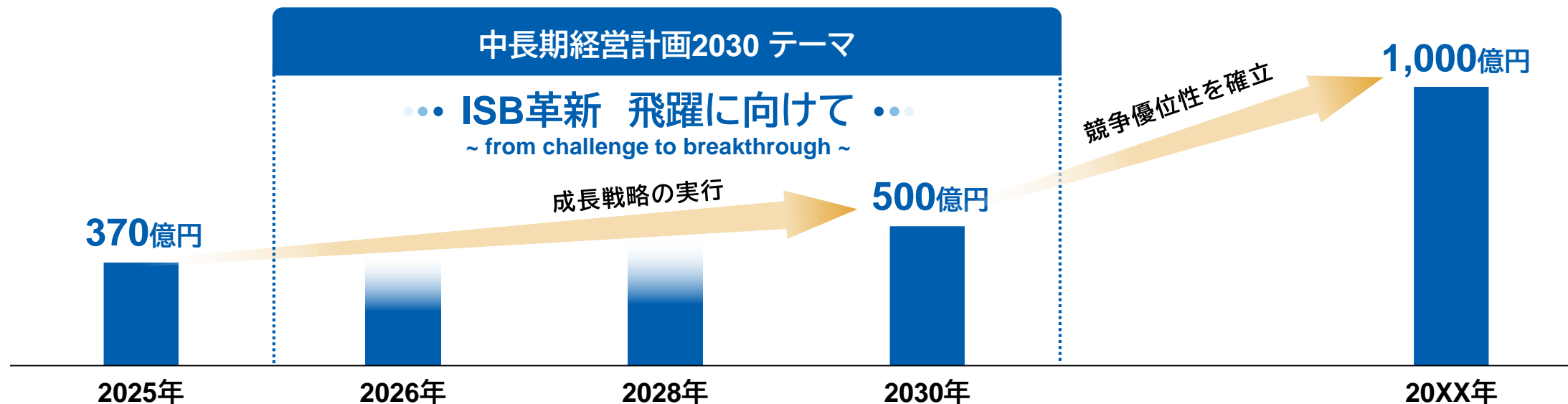
課題 事業・組織の質的転換

- **事業面**：プライム・上流工程へのシフト、新プロダクト展開、品質強化
- **組織面**：採用・育成・エンゲージメント向上、ブランディング強化、グループ最適化

飛躍的な成長実現のため、現状からの「革新」が必要と認識

	社会課題	マテリアリティ	主な取り組み
成長マテリアリティ	 社会 技術革新	技術で支える生産性向上、安心安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究開発、技術投資の強化 ● 専門人材の育成、採用 ● ソリューションサービスの高度化
	 社会 地域活性化	地域に根差した事業活動による雇用創出と経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業拡大と新規拠点の開設 ● 地域に根差した雇用創出の促進
	 社会 人的資本	従業員一人ひとりが主役となる、働きがいのある企業文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● 理念浸透やコミュニケーション活性化施策 ● ダイバーシティの推進と多様な人材の採用 ● 学び続けられる環境の提供
基盤マテリアリティ	 環境	気候危機を核とした環境課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● GHG排出量の削減 ● 環境改善に向けたソリューションや技術の推進
	 ガバナンス	社会から信頼を得る透明性の高いガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報開示・対話の充実 ● コーポレート・ガバナンスの高度化 ● コンプライアンス徹底

3つの重点戦略を実行し、将来のリスクに適応できるレジリエントな体制を推進



マテリアリティ 技術で支える生産性向上、安心安全

情報サービスとセキュリティシステムの2つのセグメント事業戦略において、
すべてのステークホルダーと共に社会・経済価値を創出

中長期経営計画2030 事業戦略の全体図

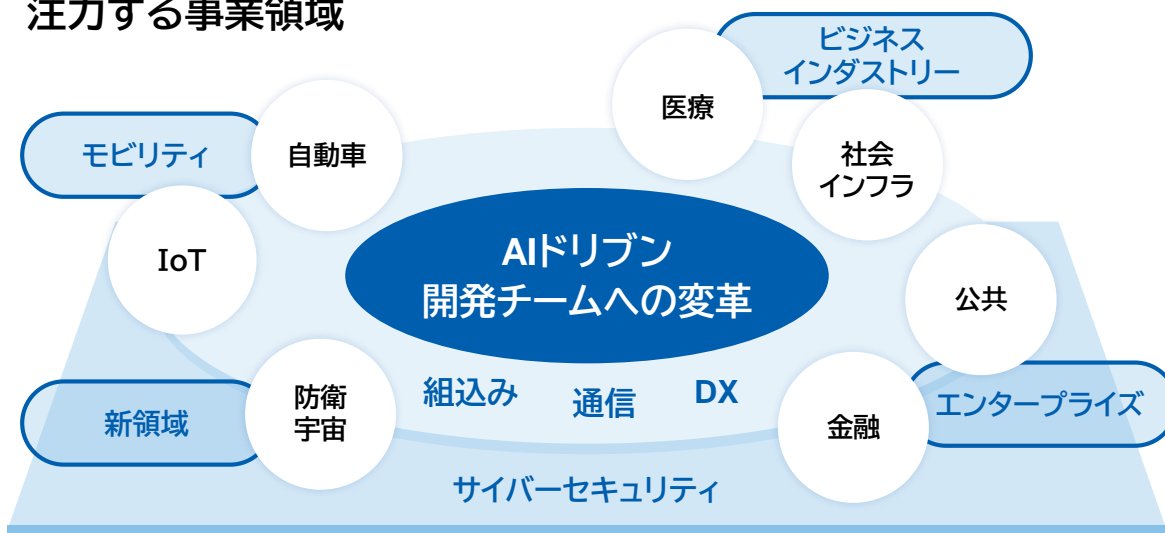


マテリアリティ 技術で支える生産性向上、安心安全

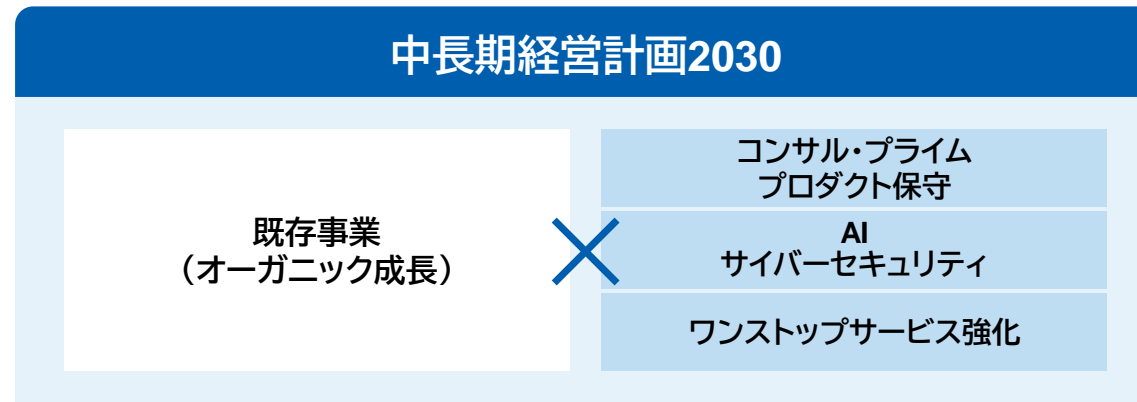
更なる高収益化へ向けて、 既存事業の競争力強化

- 技術: AIドリブン開発チームへの変革/継続的な研究開発投資
- 専門人材の採用・育成を強化/
地域連携を含めたISBグループシナジー強化
- コンサル・プライム/プロダクト保守/新領域の拡大

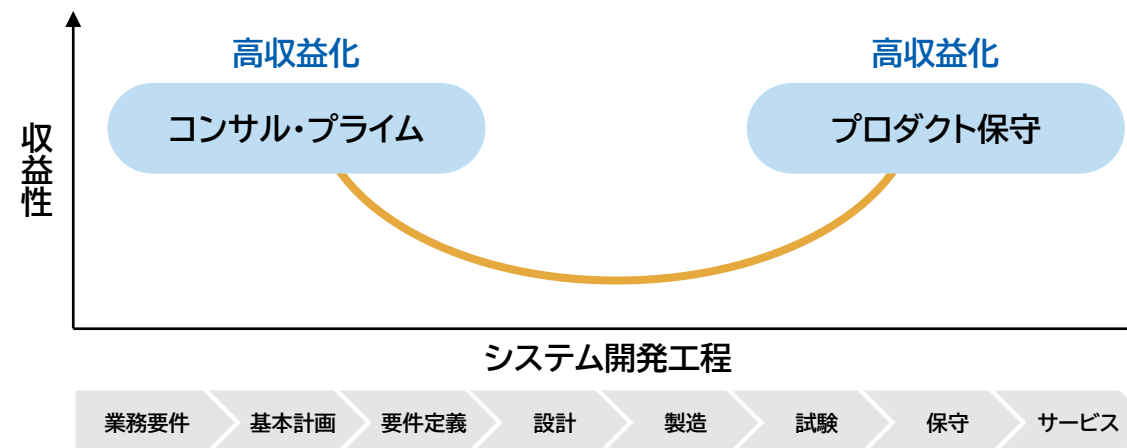
注力する事業領域



中長期経営計画2030



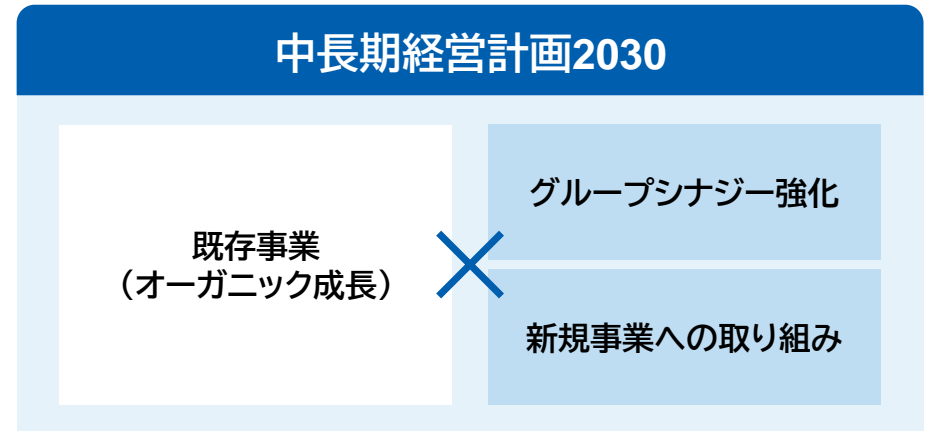
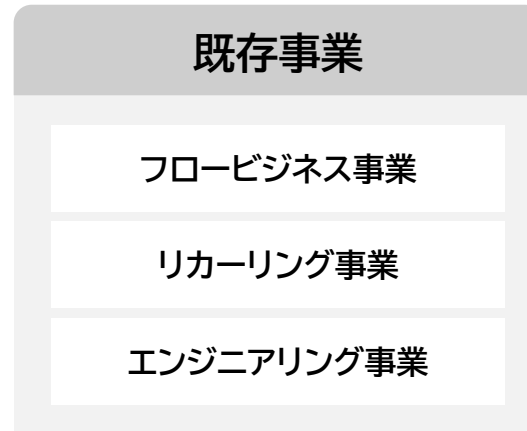
収益構造の転換(スマイルカーブ図)



マテリアリティ 技術で支える生産性向上、安心安全

オーガニック成長に加えて グループシナジー発揮と 事業創出投資で成長を実現

- 既存事業(オーガニック)の
更なる成長へ向けた向上と拡大へ
- ISBグループシナジー強化
ハードウェア販売とソフトウェア開発
両面で提案可能な営業体制を構築
- 投資による新規事業創出にて
事業領域を拡大



リカーリング主力製品



株式会社アート
公式キャラクター
ワーワーくん



マテリアリティ 地域に根差した事業活動による雇用創出と経済の活性化

1. 事業の更なる広域展開

- 広域なグループ連携により
情報サービス事業の受注強化
- セキュリティシステム事業の全国受注強化
- 新規拠点の開設
- 全国地域・海外規模の雇用拡大と人材育成
- 更なる事業成長に向けたM&A投資

2. 地域密着型ビジネスの強化

- 地域課題を解決し、地域の期待に応える
パートナーシップ構築へ
- 地域社会の「安心・安全」に貢献
- 地域発展に貢献し、共に成長し続ける存在へ



マテリアリティ 従業員一人ひとりが主役となる、働きがいのある企業文化の醸成

最重要経営資本である人材に対し積極的な投資を継続し、更なる価値創出へ

1. 働きがいのある企業文化の醸成

- 多様な価値観を尊重
- 理念浸透、コミュニケーションの活性化
- エンゲージメントサーベイの活用

2. 採用強化

- グループ連携による採用を強化
- ブランディングとオフィス環境改善により、企業の魅力度UP

3. 教育・育成

- 学び続けられる環境を整備し、「学びたい」という向上心を醸成
- リーダーシップ、マネジメント育成、キャリア形成支援の強化

人的資本戦略の実行

付加価値向上を実現するための課題に投資

理念浸透	働きがいの満足度
専門人材の採用・育成	多様な人材の採用・活躍
多様な働き方	教育、キャリア形成

ありたい組織像・社員像の実現

生産性・収益性の向上

マテリアリティ 従業員一人ひとりが主役となる、働きがいのある企業文化の醸成

1.ダイバーシティ推進と多様な人材の採用

- グループ連携による採用強化
- 女性管理職比率の向上
- 新卒女性比率の向上

3.技術革新による更なる企業価値向上

- コンサル・プライム受注増加
- 研究開発強化/新プロダクト展開
- 生産性・収益性の最大化
(1人当たり売上高・営業利益の向上)



2.従業員エンゲージメント向上と育成

- エンゲージメントスコア
(働きがいの満足度指数)の向上
- 人事評価報酬制度の充実
- 学び続けられる環境整備

専門人材の育成

資格取得

マネジメント育成

マテリアリティ

社会から信頼を得る透明性の高いガバナンス / 気候危機を核とした環境課題への対応

1. 資本収益性と市場評価の向上

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
- キャッシュアロケーション方針の実行
- 飛躍的な事業成長を見据えた戦略的投資
人的資本、M&A、オフィス環境設備、研究開発、IT、ブランディングなど
- 株主還元の強化(配当性向の引き上げ)

2. 透明性の高いガバナンス

- 情報開示・対話の充実
- コーポレート・ガバナンスの高度化
- コンプライアンス徹底

3. 環境課題への対応

- GHG排出量の削減、気候危機対応など環境負荷への取り組み
- TCFD開示対応（国内の情報サービス事業におけるTCFDシナリオの詳細については2025年度有価証券報告書にて開示予定）



キャッシュアロケーション方針などの詳細は、2026年2月13日付け開示資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

<https://www.isb.co.jp/investor-relations/>

経営指標 2030/12期

ROE

14.0%以上

株主還元 2030/12期

配当性向

50%以上

DOE

4%下限

機動的な
自己株式取得

2030年12月期 事業/人的資本目標

売上高

500億円以上

2025年度実績: 370億円

営業利益

45億円以上

2025年度実績: 23億円

1人当たり売上高

1,760万円以上

2025年度実績: 約1,650万円

1人当たり営業利益

160万円以上

2025年度実績: 約100万円

従業員数^{※1}

2,850人以上

2025年度実績: 2,246人

女性管理職比率^{※2 ※3}

7.0%

2025年度実績: 5.7%

新卒女性比率^{※2}

30%

2025年度実績: 17%

従業員
エンゲージメントスコア^{※2 ※4}

3.6以上

2025年度実績: 3.2

2030年12月期 財務・経営基盤目標

ROE

14%以上

2025年度実績: 10.2%

配当性向

50%以上

2025年度実績: 43.9%

DOE

4%下限

2025年度実績: 4.5%

GHG排出量^{※5}

30%削減

2024年度実績: 593.8 t-CO₂ ^{※6}

※1 パートおよび嘱託社員を含まず、正社員で集計。

※2 当社(提出会社単体)で集計。

※3 管理職は課長相当クラス以上の合計(社外取締役除く)。

※4 エンゲージメントスコアから「働きがいの満足度」に関わる指標を算出。最大値5.0。

※5 Scope1+2での排出量。2024年度比。国内の情報サービス事業におけるTCFDシナリオについては2025年度有価証券報告書にて開示予定。今後は対象範囲を全事業に拡げてまいります。

※6 国内事業のScope1+2での排出量。

売上高1,000億円企業への解像度を高める 「永続する企業」に向けて更なる成長へ

既存事業

共創と協働

- 顧客企業の最も重要なパートナーとして協創し、パートナー企業と共に協働

特長・強み

- 「ISBといえばこれ」という技術・製品・サービス
- 高い顧客満足度
- 広く認知されるブランディング

既存分野の発展

- 次世代通信システム・セキュリティ製品を開発
- 次世代IoT関連機器開発・販売PFの提供
- コンサルティングによるソリューションの更なる拡大

事業領域の拡大

新領域への進出

- 新分野・新顧客へのコンサル領域進出
- 新領域の進出拡大

R&D

- 新規プロダクト企画・開発
- 次世代の技術を追求め、新たな価値を提供

資本・業務提携

- 戦略的M&Aを推進
- 戦略的グローバル展開
- 新たな価値を創出する業務提携

社会的価値向上

人的資本

- エンゲージメント向上に向けた持続的な改善活動の実施
- 多様な人材が個性や専門性を発揮しイノベーションを創出

サステナビリティ

- 持続可能なサプライチェーンを構築
- 社会課題の解決に向けた継続的な取り組み

強固な経営基盤

- 資本収益性の更なる向上を実現する経営基盤の構築
- 社会から選ばれ続ける「永続する企業」へ

ISBグループ企業理念

夢を持って 夢に挑戦

Mission

私たちアイ・エス・ビーグループは
卓越した技術と魅力ある製品・サービスで
心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに貢献します。

Vision

時代の変化に適応し、知恵とITの融合により、
未来を切り拓く新たな価値を創造します。

Value

誇り 誠実 挑戦

ISB GROUP

- 本資料は、ISBグループ中長期経営計画2030に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年12月末時点の状況において作成しております。
- 本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。